

障がいのある人の作品「可能性(able=エイブル)の芸術」展覧会

エイブル・アート展 ～ 拡張する世界～

2026

7.11 [SAT] - **19** [SUN]

撮影
OK!
(観覧会場内)

平日 10:00-17:00 / 土曜 10:00-19:00

※14日(火)は休館

[会場] 可児市文化創造センター ala・美術ロフト

[入場料] 無料

公開制作

7月11日(土) 13:00-15:00頃

作家:長田恵

※休憩時間を含む。制作の状況によっては予定より早く終了することがあります。

ギャラリー
トーク

7月11日(土) 13:00-13:30

案内役:たんぼぼの家スタッフ

※予約不要、自由参加。

[主催] (公財)可児市文化芸術振興財団 【共催】可児市

[企画] (一財)たんぼぼの家 / (社福)わたぼうしの会

★メインビジュアル作品:長田 恵「モクレン」アクリル、キャンパス

お問い合わせ

可児市文化創造センター ala

TEL:0574-60-3311(火曜休館/祝日の場合は開館 翌平日休み)

展覧会詳細はこちら



様々な時代や場所で生み出されているアート作品。その中には、作家の想いや考えだけでなく、その人となりまでも垣間見えるような、ある種の生々しさをもった作品があります。突き詰められた豊かな表現には、鑑賞者を想像の世界にいざない、みる人の世界観を拡張する力があります。今回のエイブル・アート展では、そんな5人のアーティストの作品をご紹介します。

障がいのある人の作品「可能性(able=エイブル)の芸術」展覧会

エイブル・アート展 ～拡張する世界～

撮影
OK!
(展覧会場内)

2026
7.11 [SAT] - **19** [SUN]

平日 10:00-17:00 / 土 10:00-19:00

※14日(火)は休館

[会場] 可児市文化創造センター ala・美術ロフト

[入場料] 無料

「エイブル・アート展」は、障がいのある人たちが生の証として生み出した作品を「可能性(able=エイブル)の芸術」として紹介する展覧会です。



湯井 亮(片山工房|兵庫)
「リロ&スティッチ・ハワイ・カウアイ島
ホットウィールBMW507ロートスター」
素材:アルコールマーカー、紙



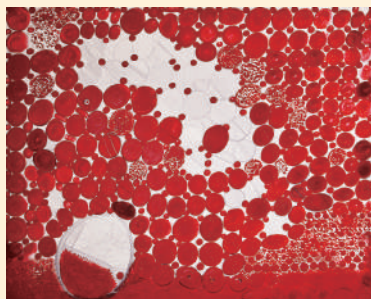
植田 恵生(コルメナ|大阪)
「海の最強生物」
素材:アルミホイル



吉原 悠真(オープンアトリエmirumiru|奈良)
「キンチャクガニとアフリカゾウとヘラクレスオオカブトとイセエビと
ガラパゴスゾウガメとクリオネとホッキョクグマとコモドドラゴンと
ハナイカとマッコウクジラとマガキ」
素材:水彩絵の具、ペン、紙



長田 恵(たんぼの家 アートセンターHANA|奈良)
「森の中にある小屋」
素材:アクリル、キャンバス



三井 啓吾(やまなみ工房|滋賀)
「ふうせん」
素材:アクリル絵の具、鉛筆、キャンパス

★可児市内支援学級児童・生徒による作品も一部展示しております。

作家・長田恵さんによる公開制作

7月11日(土) 13:00-15:00頃

※休憩時間を含む。制作の状況によっては予定より早く終了することがあります。

作家さんがどのように作品と向き合い生み出しているのか。
普段見ることのできない創作の現場をご覧ください。

[プロフィール]

1987年生まれ奈良県在住、2006年よりたんぼの家で活動始める。ほんわかとした雰囲気の中に、情熱的なひたむきさをあわせもつ。数年かけて描かれる、とてつもない時を刻んだ作品には、花や木々など生き生きと芽吹いた植物が登場する。一筆一筆大切に描いていく絵筆は、植物がじっくりと成長していくかのようです。



可児市文化創造センター ala

Tel. 0574-60-3311 (9:00~22:30)

火曜休館 / 祝日の場合は開館・翌平日休み

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139

- 東海環状自動車道可児・御嵩ICから約15分
- 中央自動車道 多治見ICから国道248号線経由で約25分
- 名鉄名古屋駅より約50分・日本ライン今渡駅下車、徒歩10分
- JR名古屋駅より約70分・可児駅下車、タクシーで約10分、徒歩30分



kpaciala



kani_ala_0727



@kani_ala

URL <https://www.kpac.or.jp>

アラ

検索

プチ
ミュージアム
ショップ

会場には作家関連のグッズや書籍を販売するプチミュージアムショップがあります。

